



秋田の魅力をつなぐ

【秋田市観光クチコミ大使】

東日本旅客鉄道(株) マーケティング本部

くらしづくり・地方創生部門 事業推進ユニット ユニットリーダー

たかぎ ひろき 氏
高木 浩一 氏

2020年6月に東京へ異動して、早いもので約2年半が経ちました。この間コロナ禍が続き全国的に外出制限、イベントの中止、インバウンドの激減等厳しい環境が続いておりました。

そんな出口の見えない状況の中でしたが、今年は夏祭りも開催され、当時から心待ちにしたあきた芸術劇場ミルハスが先日グランドオープンするなど、明るいニュースが流れきて大変うれしく思っております。

秋田での思いと感謝

当時、地域と一体となり、地方創生、コンパクトシティを推進する「ノーザンステーションゲート秋田」のローガンのもと、駅ビル「トピコ」の3階飲食フロアを2019年3月にリニューアル、翌年3月には1階を駅前広場や街との連動をコンセプトにリニューアルいたしました。また、角館エリアで地域の歴史・資産を生かして、滞在目的型ホテルを目指し、古民家を改装した「和のゐ」を2020年3月オープンいたしました。

そして、昨年開業したホテルメトロポリタン秋田ノースウィングなど秋田の玄関口を担うホテル、ショッピングセンターとして、微力ながらお役に立ちたいと考え推進して参りました。3年という期間ではありましたが、地域の皆様のお陰で着実に実現することができたことに改めて感謝を申し上げます。

コロナ禍の変化をチャンスに

さて、現在私は、JR東日本において、シェアオフィス、新幹線オフィス事業やワーケーションなど新しい暮らし方、働き方の提案、旬なものを列車でお届けする「はこびゅん」など首都圏と地方をつなぐ業務に携わるとともに、品川、田町駅間に2020年3月開業した、山手線30番目の新駅

「高輪ゲートウェイ駅」周辺約13haの開発を担当しております。

こうした業務を通して、東京の地で、改めて秋田を見たとき、その魅力の大きさをしっかり伝えることで様々な流動や変化が起こる可能性の高さを強く感じております。

具体的には、定番ですがやはり毎日の新鮮な食、自然、人の温かさを、首都圏の仕事環境や子育て環境とシームレスにつなぐなど、土地の魅力とともに、安心して働ける環境の存在をわかりやすく伝えていくことが重要だと感じております。

コロナ禍で2拠点居住や移住者が増加し、最近では勤務地が自由に選べるような企業もできており、暮らし方の変化が加速していると感じております。

前述した、現在推進する業務はこうした、関係人口から、2拠点居住さらには移住へとつなげることを目指して、働く環境の整備やオンライン診療環境の整備、あるいは地域の新鮮なお届けサービスなどを推進しております。

これからは、全国から、そして海外から秋田への訪問者が増え、また秋田から首都圏への旅行・出張も徐々に回復して交流もようやく活発化してくる兆しですので、アフターコロナを見据えて、タイムリーに秋田の皆様と一緒にクチコミ大使として魅力を伝えていきたいと考えております。

■略歴

1965年 東京都生まれ

1989年 慶応義塾大学卒業

2017年～2020年

秋田ステーションビル代表取締役社長

現 在 東日本旅客鉄道(株)マーケティング本部

くらしづくり・地方創生部門

事業推進ユニット ユニットリーダー